

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 7 年第 5 回

那須塩原市議会定例会

(1 2 月)

【代 表 質 問 者】

【 1 1 月 3 0 日 (月)】

敬清会

議席 21 番

相馬 義一 議員

受付番号	平成27年11月16日
第 / 号	40 10 時 00 分受付 午後

平成27年11月16日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 敬 清 会

議席番号 21番 相 馬 義 一



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成28年度当初予算編成について	活力有る未来を展望した施策展開の深化を図るチャレンジの年と位置づけ、事務事業推進のキーワードを「未来へチャレンジing」としてありますが、以下の点について伺います。 (1) 独自の施策や他団体との差別化に向けたチャレンジingですが、具体的な取り組みについて伺います。 (2) 新年度予算における予算規模と一般財源の見通しについて伺います。
2. 第1次那須塩原市総合計画の実施計画「H28～29年度」について	(1) オーストリア国リンツ市との姉妹都市提携について、調印までのスケジュールをお伺いします。 (2) 空き家対策事業の内容について伺います。 (3) プレミアム商品券発行の詳細について伺います。 (4) 関谷小学校プール新築工事の内容について伺います。 (5) 小中学校トイレ洋式化事業の内容について伺います。
3. 市長の市政運営に対する考え方について	平成24年に、変革を掲げ阿久津市長が就任し、早4年が経過しようとしています。その間、多くの行政課題の内、最優先の課題であった放射能の除染事業や、観光・農業・酪農業・商工業の風評被害対策事業をはじめ、人口減少・高齢化社会に対する事業や

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 7 年 第 5 回

那須塩原市議会定例会

(1 2 月)

【一 般 質 問 者】

【 1 2 月 1 日 (火)】

議席 5 番	佐藤 一則	議員
議席 3 番	相馬 剛	議員
議席 7 番	櫻田 貴久	議員
議席 1 番	藤村由美子	議員

【 1 2 月 2 日 (水)】

議席 20 番	山本はるひ	議員
議席 25 番	人見 菊一	議員
議席 8 番	大野 恭男	議員
議席 4 番	齊藤 誠之	議員

【 1 2 月 3 日 (木)】

議席 2 番	星 宏子	議員
議席 18 番	金子 哲也	議員
議席 17 番	吉成 伸一	議員
議席 9 番	伊藤 豊美	議員

【 1 2 月 4 日 (金)】

議席 11 番	高久 好一	議員
議席 6 番	鈴木 伸彦	議員
議席 23 番	平山 啓子	議員
議席 13 番	磯飛 清	議員

受付番号	平成27年 11月 9日
第 / 号	午前 8 時 30 分受付 午後

平成27年11月 9日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 5番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 災害に対する備えの強化と生活安全確保について	平成10年の那須水害、平成23年の東日本大震災そして本年9月9日から10日にかけて台風18号による豪雨では、本市においても大きな被害を受けました。また、近年の異常気象により、気象警報の発令回数も急増しています。「異常気象」は、極端な気象、稀にしか起こらない気象という概念だとされています。しかし、近年、メディアを中心に、異常気象が増加しているとの考え方が浸透し、同時に異常気象という言葉の概念や定義が変わりつつあります。傾向として、異常気象の概念は「激しい気象、荒天、悪天候」の概念に近づきつつあり、範囲が広がってきています。これは地球温暖化問題や自然破壊問題を受けたものだと考えられています。これに関して、異常気象の「異常さ」が薄れていくこと、あるいは長期的な気候変化により学問的な異常気象の定義が少しずつ変わっていくことで、警戒心が薄れたり、気付かないうちに気候が変化していたりするのではないかと、という声もあります。一方で、逆に異常気象の概念が限定的になり定義も狭いものになれば、異常気象の把握が難しくなったり、異常気象に気付くにくくなるのでは、という声もあります。単に人間の寿命がせいぜい百年程度で、近代気象に関わる文献が過去数百年～数千年程度でしかないため、本来的には地球上で“普通”に発生し得る天候であっても、観察者である人類の寿命・歴史にとっては“異常”と定義したことになり、そもそも異常気象の発生自体は当たり前の事象であり、地球が

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	存在する以上、異常気象は必ず発生するものであることから、次の点についてお伺いします。
	(1) 気象警報等の市民への周知方法についてお伺いします。
	(2) 避難勧告の基準と周知方法についてお伺いします。
	(3) 自主防災組織、防災士や関係機関との連携についてお伺いします。
	(4) 塩原地区に設置されているケーブルテレビの災害時等の活用方法についてお伺いします。
	(5) 現在の総合防災訓練内容と課題についてお伺いします。
2. 公共交通網について	高齢者や障害者など交通弱者の移動手段として、また児童生徒の通学の足として、地域のバスは大きな役割を担っていますが、更に利用者ニーズの高い運行を目指していく必要があります。しかし、現在の地域バスは限られた運行路線であり、多様化するニーズや高齢化社会の進行に対応するためには、地域バスを含めた効率的で利便性の高い総合的な公共交通ネットワークシステムの構築が求められていることから、次の点についてお伺いします。
	(1) ゆ〜バスについて
	① 路線、経路、便及び時刻の見直し基準についてお伺いします。
	② 運行事業者の決定方法についてお伺いします。
	(2) 予約ワゴンバスについて
	① 路線、経路、便及び時刻の見直し基準についてお伺いします。
	② 運行事業者の決定方法についてお伺いします。
	③ 協定書による支払い条件と実際の支払い内容についてお伺いします。
	④ 市民が利用する方法と課題についてお伺いします。

受付番号	平成27年11月9日
第2号	(午前) 9時10分受付 午後

平成27年11月 9日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 3番

相馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 企業誘致について	地方創生元年といわれる今年度、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口の減らないまちづくりに取り組んでいる本市において、地域活性化の重要な要素が「雇用」の確保であると考えます。平成27年度当初予算でも新規事業として「企業誘致調査研究」の委託料3,888,000円が盛り込まれているところです。 そこで、次の内容について質問いたします。 (1) 企業誘致の調査研究の進捗状況を伺います。 (2) 企業誘致の手法について伺います。 (3) 現時点での成果について伺います。 (4) 今後の進め方について伺います。
2. 閉校後の跡地活用について	全国的に少子化によって学校の統廃合が進み、本市においてもこれまでに、4つの小学校が閉校となっており、さらに来年度以降も統廃合の計画があります。そこで閉校となった学校の活用について様々な意見があり、小中学校跡地活用検討委員会が庁内に設置され、検討が進められていると伺っております。学校であった施設は、グラウンドや体育館などを備えたいわば特殊な施設で

[illegible]

受付番号	平成27年11月9日
第3号	午前 10時40分受付 午後

平成27年11月 9日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 7番 櫻田 貴久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について	「地方消滅」の問題提起は、多くの自治体が人口減少問題を議会で取り上げる契機ともなりました。政府も2014年の「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」の中でこの問題を取り上げ、東京への一極集中に歯止めをかけること、人口減少の克服を目指した総合的な政策を推進すること、政府一体となって取り組む体制を整備することを表明しました。2014年9月に内閣官房に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、石破茂地方創生担当大臣が誕生しました。その後、政府は有識者会議を設置し、人口減少克服に向けた「長期の人口ビジョン」と五ヵ年の「総合戦略」策定に乗り出しました。衆議院解散直前の2014年11月21日には、地方創生関連二法案が成立し、政府の総合戦略と連動する形で、都道府県そして基礎自治体たる市町村（特別区含む）も長期ビジョンと総合戦略を策定することが「努力義務」となりました。2014年12月27日には、政府の「長期の人口ビジョン」と五ヵ年の「総合戦略」、2015年6月30日には、「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」がそれぞれ閣議決定されました。その後は、地方がどのような総合戦略をつくり、

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	実行していくかが大きな焦点となっています。
	そこで本市の更なる取り組みについてお伺いします。
	(1) 本市の人口の推移についてお伺いします。
	(2) 改めて本市の総合戦略を考え、推進していく上でのコンセプトをお伺いします。また、本市の現状を提示し、市民と一体的に本市の将来を展望し、市民生活の質を維持・向上していくための戦略を推進していく必要性について、本市の考えをお伺いします。
	(3) 戦略の推進に不可欠な市長のリーダーシップについてお伺いします。
	(4) ブランドメッセージ「チャレンジing 那須塩原」、また、サブメッセージ「一歩踏み出す人を応援するまち」として、今後のこれらのメッセージを活用したシティプロモーションの具体的な取り組みについてお伺いします。
	(5) 「那須塩原市定住促進計画（那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」として、全国で3番目の早さで策定、公表をしました。そこで、今後本計画に基づき更なる定住促進を推進していくための具体的な施策、タイムスケジュールについてお伺いします。また、市民との連携についてもお伺いします。
2. 観光行政について	本市はこれまで、本市の強みでもある情報発信（メディアミックス）を有効に使い、ラジオ、テレビ、新聞、鉄道媒体における告知等を同時的・波状的に行い、顧客の購買動機を掘り起こし、今まで塩原温泉・板室温泉を知らなかった、または忘れていた観光

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	客に来訪意向を芽生えさせる機会を増やしました。また、観光入
	込客数及び宿泊客数の増加を目的として、首都圏を中心とした幅
	広い地域や年齢層に対する知名度の拡大と、温泉を軸とした観光
	地としてのイメージアップを図ってまいりました。そこで、本市
	の観光の現状についてお伺いします。
	(1) 本年は夏季にハローキティキャンペーンを行いました、
	夏季期間の観光入込客数と、宿泊客数及び推移についてお伺
	いします。
	(2) 観光経済新聞社のにつぼんの温泉100選における今年の
	塩原温泉・板室温泉のランキングについてお伺いします。
	(3) 「秋のプラン」の実施状況についてお伺いします。
	(4) 今後、冬のプラン、春のプランを実施していくことで、塩
	原温泉と板室温泉の、一年を通しての「プラン」が完成する
	が、今後どのように進めていくのか具体的にお伺いします。
	(5) 複合的・継続的な情報発信「メディアミックス」の、今後
	の計画についてお伺いします。
	(6) 本市の観光は今非常に注目を集めていますが、今後、観光
	局や観光協会とどのように連携し、本市の観光の発展に結び
	つけていくのかお伺いします。
3. 国民体育大会に向けたスポーツ施設の整備について	2022年に本県で開催される「第77回国民体育大会」の県準備委員会第4回常任委員会が開催され、会場となる自治体の第3次選定として、バレーボールやバドミントンなど7競技8種目の開催地が承認され、本市としても、ソフトテニスに更に承認されました。なお、会場地の最終決定は来年度に行われる中央競技団

受付番号	平成27年11月9日
第 〆 号	午前 〆 時 〆 分受付 午後

平成 27 年 11 月 9 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 1 番

藤村 由美子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 公共交通について	昨今、全国的に認知症の高齢者による痛ましい交通事故が発生しています。認知症に限らず、現在マイカーでの移動に頼って生活している誰にとっても等しく老いは訪れるもので、視力も聴力も判断力も徐々に衰えてきます。近い将来、大量の団塊の世代が運転免許証を返納せざるを得なくなる時が来るでしょう。車社会で成り立っている広大な那須塩原市内において、市民誰もがいつでも安心して移動できる交通手段の確立が求められます。現在進行中である様々な市の大きな計画の中で、公共交通についてどのようなグランドデザインが描かれるのか、これは市民の生活設計にとって非常に重要な問題です。わたくしは、市内に新幹線「那須塩原駅」を有する本市が、那須地域定住自立圏の中心都市として中心的に地域公共交通網形成計画を策定すべきと考えることから、公共交通に関連する以下の事柄についてお伺いします。 (1) 那須塩原市にはどのような公共交通が必要だと市は考えているのか (2) 第2次那須塩原市総合計画において公共交通施策はどのように位置づけられるのか

受付番号	平成27年11月9日
第5号	午前 11 時 55 分受付 午後

平成27年11月 9日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 20番

山本 ぼるい 印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 放射能対策について	東京電力福島第一原子力発電所事故から4年半以上が過ぎました。しかし、本市においてはいまだにスポット的に放射線量の高い地域があり、放射能による汚染や内部被ばくに対して不安を感じている多くの市民がいます。9月には当議会に対して除染や子どもの健康への不安を持つ市民の方々から「放射能対策に関する陳情書」が提出され、私たち議会はその一部を採択しています。 議会の陳情に関しては採択しても執行部になんらの制約を課するものではない、ということは承知しています。しかしながら、今回当議会が採択した陳情は、本市にとっても大変大きな課題であり、重く受け止めていくべきものではないかと考えます。 また市は「那須塩原市除染実施計画」を立てて平成28年3月をめどに除染を行ってきています。そこでこれまで計画通りに除染が行われてきたのか、目標は達成されるのか、今後の考え方も含めて伺うものです。 (1) 議会で一部採択した「放射能対策に関する陳情」の内容について、市はどのように考えているのか伺います。 (2) 「那須塩原市除染実施計画」の進捗状況を伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 国は平成29年3月までに特に放射線量の高い「帰還困難地域」を除き全市町村を帰還させ、支援体制の収束を図ろうとしています。市としては今後どのような対策で線量の高い地域の除染、市民の健康への不安解消をしていくつもりか伺います。
2. 新庁舎建設に伴う関連施設の整備と協働のまちづくりについて	新庁舎は、本市の将来を担う協働のまちづくり事業の根幹となるべき施設であり、その建設は本市の未来がかかっている事業と言っても過言ではないと考えています。そのため市民の方々も大きな関心をもっているところです。しかしながら、新庁舎建設に関する内容や現在ある庁舎や支所のあり方などについては、なかなか情報が伝わってこない現状が続いていました。そこで私は9月議会の会派代表質問において新庁舎建設に伴うまちづくりについての質問を行いました。その際の市の答弁は、現在まとめている段階、これから検討する、精査しているなどであり、具体的なお答えをいただけませんでした。3か月経った現在、基本設計がまとまる段階にきているものと思います。 そこで再度、庁舎建設で市民サービスは向上するのか、市民との協働のまちづくりは進んでいくのか、さらに支所機能と現在の庁舎の利活用について市民の利便性の向上が図れるのか、などの観点から以下の項目について伺うものです。 (1) 新庁舎建設にあたっては、アンケートや懇談会など市民の方々からの意見聴取を行っていました。あらためてどのような意見や要望があったのか、またこれらの意見や要望を計画や設計の中にどのように取り入れたのか伺います。

受付番号	平成 27 年 11 月 9 日
第 6 号	午前 12 時 8 分受付 午後

平成 27 年 11 月 9 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 25 番 人見 菊一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 27 年第 5 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 農業行政について	野生鳥獣被害対策についてであります。近年、農作物被害は全国的に増加傾向にあり、我が那須塩原市に於いても、塩原地区、高林地区山間地に集中して被害が発生しており、野菜生産農家では大変な苦勞をしているのが事実であります。春早く種を播き手入れをし、更に被害対策もして、収穫を待つばかりとなった時、見るも無残に大根、トウモロコシ、ジャガイモ等が野生鳥獣に食い荒らされ出荷ができないのが現状です。このような事が毎年続いたならば農業経営がなりたたなくなり、死活問題になりかねません。このような被害対策として当市に於いては、猿の巡視員を塩原地区、高林地区に配置活動している訳であります。その成果はどうなのか。また、農林水産省によれば平成 12 年度に法改正でこれらの被害対策として、捕獲を主として野生鳥獣被害対策実施隊を各市町村に設置推進をしてきたとのことでありますので、本市の現状を以下の点についてお伺いします。 (1) 野生鳥獣被害対策実施隊の現状についてお伺いします。 (2) 猿巡視員の現状についてお伺いします。 (3) 近年の農作物被害の状況についてお伺いします。 (4) 鹿、猪、熊、猿の捕獲状況についてお伺いします。 (5) 農作物保護対策の電気柵設置の現状についてお伺いします。

[illegible]

受付番号	平成27年 11月 9日
第 7 号	午後 6 時 00 分受付

平成 27年 11月 9日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 8 番

大野 恭男



市 政 一 般 質 問 通 知 書

平成 27 年第 5 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を以下の通り通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 高齢者福祉事業について	高齢者福祉事業は、市の重要な施策と思われます。 「高齢者が住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念にし、第6期那須塩原市高齢者福祉計画が計画どおりに進められているかと思ひます。 そこで以下の点についてお伺ひします。 (1) 高齢者がいきいきとした暮らしをしていく為、生きがいつくり、社会参加の促進を重点事業に掲げていますが、現状と課題についてお伺ひします。 (2) 高齢者が健やかに暮らしていく為、健康づくりと介護予防の促進を重点事業に掲げていますが、現状と課題についてお伺ひします。 (3) 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続ける為、 ①地域包括ケアシステムの整備 ②地域包括支援センターの機能・運営の強化 ③地域見守り支え合い体制の構築 ④認知症対策の充実

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
	を重点事業に掲げておりますが、現状と課題についてお伺いします。
	（４）今後の施設整備計画についてお伺いします。
2. 保育行政について	働くお父さんお母さんにとって、安心して仕事ができる環境整備に積極的に取り組んでいる状況であることは充分承知しております。少子化、核家族化の進行、共働き世帯の増加など保育環境を取り巻く社会情勢の変化に伴い、保育環境の整備は、とても重要な課題であることから、以下の点についてお伺いします。
	（１）保育園の待機児童数及び今後の待機児童解消に向けての施設整備計画及び進捗状況についてお伺いします。
	（２）保育園の民営化計画の進捗状況及び今後の計画についてお伺いします。
	（３）学童保育における待機児童数及び今後の待機児童解消に向けた取り組み、課題についてお伺いします。
3. 公共施設におけるバリアフリー化について	那須塩原市には多くの公共施設があり市営住宅の老朽化が進んでくるかと思われます。また、都市公園についても多く存在し、バリアフリー化が求められていることから以下の点についてお伺いします。
	（１）中層住宅長寿命化改修工事の進捗状況と今後の計画についてお伺いします。
	（２）高齢者や障がいのある方にやさしいタイプの住宅はあるのか。また今後の計画についてお伺いします。
	（３）都市公園において高齢者・障がいのある方及び小さなお子様に対して、快適に過ごして頂く為にどのような対策が行われているか、お伺いします。

受付番号	平成27年11月13日
第8号	午前 3時31分受付 (午後)

平成27年11月13日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 4番 齊藤誠之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 学校における安全の確保について	本市の各学校では、状況に応じた学校安全に関して様々な取り組みが行われております。今後も危機意識を持って子どもの安全確保に取り組んでいくことが必要であることから改めて防犯対策についてお伺い致します。 (1) 構内での安全組織の整備状況、学校安全点検の実施状況をお伺い致します。 (2) 教職員の危機管理意識の定着のための実践的研修や訓練の実施状況をお伺い致します。 (3) 職員玄関、昇降口、校門や教室等の不審者侵入防止対策の現状についてお伺い致します。 (4) 防犯機器、器具等の設置状況、並びにその器具の取扱いの全教員への運用指導状況、また今後の機器の設置計画等があればお伺い致します。 (5) 子ども達への防犯に関する教育実施の状況をお伺い致します。 (6) 地域児童見守りシステム「ココセコム」の現状についてお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 自転車の交通安全対策について	平成27年6月1日に改正道路交通法が施行され、交通の危険を生じさせる違反を繰り返す自転車の運転者に、「自転車運転者講習」を義務付けるとしています。便利な乗り物とは裏腹に、自転車による事故等が報道されるようになりました。危険な運転をさせない為には、交通ルールやマナーを理解して、運転することが大切だと考えることから以下の点についてお伺い致します。 (1) 今回の改正に伴い、自転車運転マナー等の市民への啓発をどう考えているのかお伺い致します。 (2) 今回の改正の対象年齢は14歳からとなっていますが、自転車は各世代が利用するものです。小学生、中学生或いは、高校生等への周知はどのようにしているのかお伺い致します。 (3) 保育園、幼稚園へ子どもを自転車に乗せて通う市民もいます。学校へ上がる前の保護者への周知等を行っているのかお伺い致します。 (4) 法律の改正後に生徒が指導或いは検挙された報告等はあるのかお伺い致します。 (5) 小中学校並びに高校での自転車講習の実施の状況と自転車通学者に対して傷害保険および賠償責任保険の加入状況についてお伺い致します。 (6) 自転車の取り締まりが強化されたことによって、新たな課題が発生することを考慮し、道路整備の観点から車道における自転車の安全課題をどのように改善していくのか、今後の対応をお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
4. 本市の今後の教育ビジョンについて	本市の教育政策は、多方面からも注目されてきています。AL Tの各学校への常駐配置、I C T機器では電子黒板の配置や、今 後始まるタブレット端末の配布など、この先へ展開が目白押しで あるとともに、機材の設置のみならず、教育の要である教員への 負担軽減を図り、教職員ネットワークシステムを導入し、さらに は学びの一貫性を掲げ、教師と子ども達が一体となり学んでいく 学び創造プロジェクトも掲げるなど、教育施策に積極的に取り組 んでおります。現在ある教育から今後のビジョンも含めて、子ど も達の生きる為に必要な土台を作り上げていく本市の施策につい て改めてお伺い致します。 (1) A L Tが常駐配置されて2年目を迎えております。これま での成果並びに、さらに展開していく中での課題についてお伺い 致します。 (2) I C T機器導入の現状並びに進捗状況についてお伺い致し ます。 (3) 教職員ネットワークシステム導入の現状並びに今後の展開 についてお伺い致します。 (4) 学び創造プロジェクトがモデル的にスタート致しましたが 現段階での成果並びに今後のタイムスケジュールについてお伺い 致します。 (5) なすしおばら学び創造プロジェクトの中で核ともなる新た な取り組み「アクティブ・ラーニング」についてお伺い致します。 (6) 未来を担う子ども達が社会に通用する「人づくり教育」を 進めるための今後のビジョンについてお伺い致します。

受付番号	平成 27 年 11 月 13 日
第 9 号	午前 3 時 58 分受付 (午後)

平成 27 年 11 月 13 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 2 番 星 宏 子 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 27 年第 5 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 「箱の森プレイパーク」の今後の整備について	「箱の森プレイパーク」は 9 月の関東・東北豪雨により土砂災害を受け、サイクル列車は現在も使用できない状態になっています。変形自転車とサイクル列車は「箱の森プレイパーク」の集客の中心的役割を果たしており、格安で家族で楽しめる為リピーターも多く居ります。現在、サイクル列車の裏山の崩れた場所は二次災害防止のため土嚢で砂防の応急処置をしていますが、今後の修繕を含む整備計画と活用についてお伺いいたします。
2. 生活保護対策について	本市の本年度の生活保護扶助費予算額は 16 億円を計上しています。生活保護受給者は年々増加傾向にあり、本年 4 月から生活困窮者自立支援法が施行され、自立への対策が進められています。生活保護受給者の支援を実施するにあたり、市独自の取組も必要と考え、以下についてお伺いいたします。 (1) 現在実施している自立支援の内容と事業の評価についてお伺いします。 (2) 被保護世帯の高齢者への支援についてお伺いします。 (3) 被保護世帯の生産年齢世代への支援についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 図書館の利用者数がアップ するために	平成31年10月に(仮称)駅前図書館の開館が予定され、市立図書館の在り方を明確にし計画的整備・活用のため『那須塩原市図書館の在り方』が策定されました。新図書館の建設にあたり市民の関心も高くなり、期待も大きくなると思います。市民の憩いの場、また交流の場として、一人でも多くの方に利用していただき、広く愛される図書館になることを期待します。現在、本市の図書館年間利用者数を見ると、平成23年度は約137,000人、平成26年度は約123,000人、と減少傾向にあります。 デジタル化により本離れが進んでいることも考えられますが、新図書館開館までに利用者がアップすることを目指し対策を取る必要があると考え、以下についてお伺いいたします。 (1) 子どもの読書記録に読書通帳を導入する図書館が全国的に広がりをみせています。銀行の預金通帳のように印字され子どもたちにも好評ですが、本市も導入する考えはありますか。 (2) 図書館に気兼ねなく小さなお子さんを連れて行けるよう『赤ちゃんタイム』を設けている図書館があります。本市はまだ設けていませんが、子どもが小さい時から図書館に親しむことはとても大切です。今後導入する考えはありますか、お伺いします。 (3) 新規来館者を増やすために、新着本のお知らせや図書館の情報など『みるメール』で配信することについてお伺いします。 (4) 新図書館開館後の黒磯図書館、西那須野図書館の利用についてお伺いします。 (5) 視覚障害者や細かい文字が読みにくい高齢者、識字障害を持つお子さんなどのために、大活字図書やデージー図書の拡充及び外出が困難な方のために電子書籍の導入についてお伺いします。

受付番号	平成27年11月13日
第10号	午前 午後 5時15分受付

平成27年11月13日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 18番 金子哲也



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. リンツ市との姉妹都市提携 を国際交流促進の起爆剤に	本定例会に議案の上程が予定されているオーストリア国リンツ市との姉妹都市提携の締結により、国際交流の更なる促進が期待されると思いますが、これからどのように取り組んでいこうと考えているかお伺いします。 (1) リンツ市とは、どのような関係を望み、そのためにはどのような取り組みが必要と考えているかお伺いします。 (2) 姉妹都市は、文化の交流や親善を目的としたものですが、その関係は市と市を目的としたものか。若しくは、小中学生同士を目的としたものか。又は、市民と市民を目的としたものかお伺いします。 (3) 姉妹都市提携を締結したことにより、市民の交流をどのように促進していこうと考えているかお伺いします。 (4) 語学が堪能でない市民がリンツ市を訪れた際に困ることのないよう、市民からの相談や案内などに対応できるコンシェルジュをリンツ市に配置すべきと考えるが、どのように考えるかお伺いします。 (5) 語学が堪能でないリンツ市民が本市を訪れた際に困ること

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	のないよう、相談や案内などに対応できるコンシェルジュ
	を本市にも配置すべきと考えるが、どのように考えるかお
	伺いします。
	(6) リンツ市との姉妹都市提携の締結により、本市の国際交流
	協会の役割と位置付けは、どのように変わっていくと考え
	るかお伺いします。
	(7) リンツ市との姉妹都市提携の締結により、国際交流の所管
	部署と職員数の充実が必要となると考えるが、どのように
	考えるかお伺いします。
2. 学校教育に於ける文化・芸	近年、那須塩原市の小学校・中学校では、様々なコンクールや
術・スポーツ等について	競技大会等が開催され、枚挙に暇のない華々しい成果があがって
	います。
	これらの成果は、「ローマは一日にして成らず」という諺が意味
	するように、一朝一夕に簡単に成し得るものではないと考えてお
	ります。教職員の授業や課外活動における指導が結実した結果と
	受け止めていますが、どのような指導をしているか内容をお伺い
	します。
	また、この成果を更に向上させるために、どのような取り組み
	が必要かお伺いします。

受付番号	平成27年11月16日
第11号	午前 9 時 30 分受付 午後

平成27年11月16日

那須塩原市議会議員 中 村 芳 隆 様

議席番号 17番

吉成 伸一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、地方創生への農業施策について	地方創生の流れが加速する中、多くの自治体で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されています。本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点施策7つのK（雇用・結婚・子育て・教育・暮らし・交流・広報）の中で、新規就農者・創業者への支援が謳われています。さて、10月5日にアトランタで開催されたTPP（環太平洋経済連携協定）閣僚会議において大筋合意に至りました。農林水産省は、聖域とされてきた重要5品目の情報を詳細に公表しました。生産者からは非難の声も上がっていますが、評価は二分されています。本市農業が地方創生を力強く進めるための足腰強化と活性化について伺いたいします。 (1) TPP（環太平洋経済連携協定）による本市農業への影響と国への要望を行う考えはあるのか伺います。 (2) 本市の農地に占める「耕作放棄地と遊休農地」の推移および対策について伺います。 (3) 認定農業者、農業生産法人等の推移と推進策について伺います。 (4) 農業の可能性を広げる6次産業化の取組について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(5) 本市のシルバーファーマー制度の若者版を導入し、新規就農者支援を行ってはどうか、伺います。
2、高齢者の交通事故の防止対策について	交通事故全体が減る中で、唯一、急増しているのが高齢者ドライバーの事故です。アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故、一時停止を無視し交差点に突っ込んでの事故。また、道路をふらつきながら走ったり、曲がり角を曲がりきれずによろめいたりする高齢者が乗る自転車を見かけることがあります。以下について伺います。
	(1) 「運転に自信がなくなった」「家族から心配と言われた」等の理由で高齢者の運転免許自主返納が増えていると思うが自主返納の現状と自主返納を推進する支援制度の導入の考えがあるか、伺います。
	(2) 自動車には高齢者マークがあります。自転車にも高齢者マークと同様のシールなどを交付し、周囲の方々への周知に役立ててはどうか、伺います。
3、緊急医療情報キットの電子化と119番からの活用について	高齢者や障がい者への緊急医療情報キットの交付の際に、消防本部に情報を渡し、情報を電子化することで119番受信時に救急車内のタブレット等に送信されるシステムの整備を行ってはどうか、伺います。
4、一般廃棄物の処理について	本市の一人1日あたりのごみ排出量は目標年度の平成33年度には928gを目指しています。ごみの資源化率は、平成33年度に30%以上を目指すとしています。以下について伺います。
	(1) ごみの減量化・資源化の目標はこれまで達成されてきたのでしょうか。また、「その他の紙」の分別に力を入れていますが成果とごみ減量推進員によるごみの分別徹底等の活動

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	について伺います。
	(2) ごみステーションから資源ごみの持ち去り行為などは行われているのでしょうか。また、資源ごみ持ち去り禁止条例の制定の考えはあるか、伺います。
	(3) ごみ収集事業者が変わったことによるトラブルや市民からの苦情はなかったでしょうか。また、事業者との委託契約の期間は5年間ですが、市民の苦情への対応や業務改善等はどのように行われているのか、伺います。
5、スポーツ施設の整備と観光 誘客について	第1次那須塩原市総合計画に伴う実施計画の中の基本政策6の「豊かな心と文化を育むまちづくり」また、那須塩原市スポーツ施設整備計画より、以下について伺います。
	(1) 市民から「西那須野運動公園のプールの屋根は開かないのか」との声を聞きます。今後の修繕の予定と修繕内容を伺います。
	(2) 来年10月に塩原温泉で「ペタンクの全国大会」開催の引き合いがあります。観光誘客につながるスポーツ合宿や大会の際の施設利用料の減免制度の導入の考えを伺います。
	(3) 「青木サッカー場」の整備について9月議会の質問では、Dグラウンド整備が不明確でしたが、その後の検討を経て、人工芝による整備となりました。天然芝のBグラウンドの改修の必要性和、これまで青木サッカー場で行われてきた青木祭りへの対応について伺います。

受付番号	平成 27 年 11 月 16 日
第 12 号	午前 11 時 00 分受付 午後

平成 27 年 11 月 16 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 9 番 伊 藤 豊 美 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 27 年 第 5 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 郷土芸能の保存について	全国的に郷土芸能の後継者不足が叫ばれているなか、現在の状況を見ると、那須塩原地域における伝統、郷土芸能を後世に伝えるのに非常に厳しい状態におかれています。
	すでに近隣の地域において、消滅してしまった保存団体や、維持することが困難になっている保存団体が多くみられます。那須塩原市でも例外ではありません。
	三本木地区においても、後継者が高齢化し、子供や若者たちの人数が年々少なくなっていくという状況にあり、このままでは維持することが難しい状態になってきました。
	そこで、郷土芸能の維持・保存について、以下の点を伺います。
	(1) 那須塩原市には、郷土芸能保存団体は何団体あるか伺います。
	(2) 24 年度に行った那須塩原市郷土芸能保存団体調査の調査対象数と回答数、回収率について伺います。また、調査の結果をどのように活かしたか伺います。
	(3) 消滅してしまった団体や、維持することが困難な団体、また、維持・保存に成功した事例があれば伺います。

受付番号	平成 27年11月 16日
第 / 号	午前 / 午後 // 時 分受付

平成 27年11月 16日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番 高 久 好 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 27 年第 5 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 保育料について	子ども子育て新支援制度のもとで9月からの新保育料が示され、多子世帯へ負担増との報道が保護者を不安がらせている。 本市の取り組みと考えを求める。
	(1)本市の保育料はどのように設定されているか。
	(2)保育料を積算するうえで、所得税法の改正により廃止となった年少扶養控除を継続適用している自治体が報道されている。 本市は、どう対応しているか。
	(3)多子世帯で、大幅な負担増と報道されているが、本市の少子化対策との関係ではどう整合性がはかられているか。
	(4)県内市町にも独自の支援策を実施している自治体がある。 第3子には、第1子が18歳以上になっても負担軽減できる制度をつくる考えはあるか。
2. マイナンバーについて	国民の不安や国の説明不足のなか、マイナンバー制度が開始され、情報管理の不備から情報漏えいや誤配も報道されている。 本市の対応について伺う。
	(1)市民が申告した「居所情報登録」者数は何人か。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2)通知カードの再配達や不達となり戻ってくる数は、どのくらいになると想定されているか。
	(3)本市の「特定個人情報保護評価」はどのような判断で、どの評価が行われ、どの程度のものなのかも聞かせて欲しい。
3. TPP対策について	本市が基幹産業と位置付ける農業や地場産業に大きな影響を与える TPP (環太平洋連携協定) の国による「大筋合意」が報道され、関係者の不安と「国会決議」違反への怒りが渦巻いている。市の対策と考えを伺う。
	(1)「大筋合意」は国内農家の努力を無にするものとの声もある。国の決める国内対策は農家の不安に応えるものとなり得ると捉えているか。
	(2)全国首長が37%反対する TPP のもとで、市の経済をどう守り、発展させていくのか、展望を聞かせて欲しい。
	(3)今後、米国からさらに追加要求がある場合も報道されている。どのように捉えているか聞かせて欲しい。
4. 検診受診率の向上を目指して	医療技術の進歩による医療費や医薬品が高騰するなか、本市の国保財政を継続的に安定させ、疾病の予防として重要な検診受診率のさらなる向上が求められている。
	(1)本市のがん検診の受診状況と課題について伺う。
	(2)本市のがん検診の県内および全国での占める位置について聞かせて欲しい。
	(3)低いと報道される日本の乳がん検診を世界水準に引き上げるため、市の検診の自己負担額を減免する考えはあるか。

受付番号	平成27年 // 月 /6 日
第/号	午前 // 時 分受付 午後

平成27年 11月16日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 6番 鈴木 伸彦 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 地方創生と公共施設の統廃合について	いわゆる「増田レポート」によって人口問題が日本における重大課題であると国に認識され、そこで重視されたのが、「地方拠点都市」であり、そこを中核都市とした「新たな集積構造」を構築するために投資と施策を集中する必要性が出てきた。本市において平成28年3月25日を期限として那須塩原市立地適正化計画策定支援業務委託がなされ、計画、検討中である。しかし、庁舎新築事業や学校の統廃合などは既に進められており、逆に緊急性のある施設を見逃したりはしていないか。そういった観点から確認の意味も含めお伺いします。 (1) 本市公共施設の統廃合に関し、これまでの取り組みについて。 (2) 立地適正化計画策定支援業務委託の中で、市民の意見をどのようにくみ取っていくのか。 (3) 第1次那須塩原市総合計画実施計画(平成28年～29年度)が出ているが、庁舎建設後も含めた、平成26年2月改訂の中・長期財政計画の見通しに比し、財政指標も交え差異があるかどうか伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 下水道行政と企業誘致施策について	那須塩原市生活排水処理基本構想<改訂版(案)>平成27年12月において、四区・赤田地区は公共下水道全体計画から削除する区域となっている。この地域は、国道400号、東北自動車道のインターチェンジ、県道、市道の幹線(たて道)などがあり本市の中にあっても、交通の要衝である。また、工業団地内はほぼ埋まっていると判断しているようだが、準工業地域などは広く残っていて手つかずのままである。また、ホテルや研究所などの誘導地域として指定していた経緯もある。そこでお伺いします。 (1) 削除した理由は何か。 (2) 今後、雇用を生む商業施設、研究所や工場などの進出計画が出た場合、市としてどのような対応を考えているか伺う。
3. 首都機能バックアップ構想について	国は人口減少問題のさなか、東京一極集中が問題とみている。そこで再登場してきたのが首都機能バックアップ構想であった。これは、市長の公約でも掲げていたことである。そこでお伺いします。 (1) 首都機能バックアップ構想の現在の状況について。 (2) 今後の取り組みについて。
4. 生涯スポーツ振興について	高齢化に伴い、医療費の増加や心の健康などがこれからの課題である。そういった中、本市はシルバースポーツ事業として体力向上ウォーキング事業を行うとのことである。そこで、事業の目的と内容についてお伺いします。

受付番号	平成27年 11月 16日
第15号	 午後 11時 55分受付

平成27年11月16日

那須塩原市議会議員 中村 芳隆 様

議席番号 23番

平山 啓子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 認知症への取り組みの充実強化について	厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上になる2025年に認知症の人が約700万人に達するとの推計を明らかにしました。 65歳以上の5人に1人に当たります。認知症とともに、よりよく生きていくための環境整備が急がれています。 (1) 子どものころから認知症への理解を深める機会の提供が必要であり、学校教育での子ども向けの認知症教育について伺う。 (2) 認知症の人や家族が地域住民と交流する場が必要である。認知症カフェのような交流の場の設置について伺う。 (3) 認知症の予防、早期発見の本市の取り組みを伺う。 (4) 認知症高齢者の見守り、保護について本市の取り組みを伺う。 (5) 認知症高齢者の事故は増えているのか、又その対策を伺う。 (6) 「認知症サポーター養成講座」が各地に広がっている。認知症サポーターが自発的に地域づくりに関わっていくことが大切であり、サポーターをどう生かしていくか伺う。 (7) 認知症早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築するため「認知症初期集中支援チーム」の設置について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 児童虐待を防ぐために	平成12年の児童虐待の防止等に関する法律の施行を機に体制が強化された結果、児童虐待に関する相談件数は年々増加し、平成11年に比べ平成25年は6倍超の73,802件（厚生労働省）です。本市においては、平成25年度は132件の相談がありました。その背景には本市の離婚件数が県内1位、また、児童扶養手当の支給者数も平成23年度は県内1位という状況があります。「虐待かと思ったら189番へ」と、7月から児童相談所の全国共通ダイヤルが3桁の番号になり、11月の児童虐待防止月間には急増したと思われます。 (1) 虐待防止、早期発見、早期対応の推進のため平成18年度に発足した那須塩原市要保護児童対策地域協議会の開催状況と内容について伺う。 (2) 地域の子どもの健全育成のため、地域の見守り資源との連携について伺う。 (3) 居所不明児童、生徒への本市の対策を伺う。 (4) 児童虐待を未然に防ぐため「子育て世代包括支援センター」の設置、特別養子縁組制度の創設について伺う。
3. 障がい者支援について	障がい者への差別や偏見をなくし、共生社会の実現を目指す「障害者差別解消法」が来年4月に施行されます。障がい者施策の集大成ともいわれ、障がい者の社会参加の機会が増えることが期待されます。 (1) 障がいを理由に差別的な取扱いを受けた場合、丁寧に応じる仕組みが重要であり、総合的な相談窓口の設置について伺う。 (2) 障がい者への理解を深めるための本市の取り組みを伺う。 (3) 障がい者への就労支援について本市の取り組みを伺う。

受付番号	平成27年11月16日
第16号	午前 〇 時 〇 分受付 午後

平成27年11月16日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

質問者 議席番号13番 磯 飛 清



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第5回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 「広域連携」について	本市は国の主導による平成の大合併により平成17年1月に1市2町による合併がなされました。以来10年の歳月が経過し、本年めでたく合併10周年を迎え10月末には、盛大にそして活気に満ち溢れた記念式典が挙行され多くの来場者が感動を覚えたものとなりました。同時に現在の本市の勢いをも誰もが感じる式典となり、本合併の成功を確信するものとなりました。
	本市は広く那須地域の発展に寄与できる存在として評価も戴けるほどの成長をもみることができるようになりました。
	特に、阿久津市長が就任してからの4年の間には二つの定住自立圏構想の締結や推進など、北那須2市1町はもとより広域連携の施策の実施や進行がみられることから検証の意味を含め伺います。
	す。
	1. 那須地域定住自立圏構想の状況を伺う。
	2. 八溝山周辺地域定住自立圏構想の状況を伺う。
	3. その他、実施並びに進行過程にある連携事業や整備事業等を伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 高齢者外出支援について	本市においては高齢者の外出の機会を支援することを目的に高齢者 外出支援タクシー券配布の施策を実施してきました。その利用状況は 「初乗り料金」のみの支援であり、JR 駅周辺や病院等に比較的近い利 用勝手の良い街なかに住む一部の市民がその多くを利用し、中心地域 から離れた地域の市民にはタクシー費用が嵩むなどの要因により支援 対象人口に対しての利用率は低く約9%台にとどまり、市民全体の公 平性に鑑み平成25年9月を以て外出支援タクシー券配布の制度は廃 止となりました。代替の施策として高齢者はもとより子供から大人ま で住民全体が公平に利用できる、「ゆ〜バス」の路線拡充や「予約ワゴ ンバス」の新設など公共交通の確保に向けた施策を展開しております。 しかしながら、これら施策は一部の高齢者から停留場までに行く不自 由さなどから、支援を求める声があることから伺います。
	1. 本市における外出支援の施策の状況を伺う。
	2. 超高齢化社会に向けての高齢者外出支援の考えを伺う。
3. 「那須塩原市ホースガー デン」について	本市には全国的には稀な、自治体が運営する乗馬やホースセラピーの 体験ができる馬場「那須塩原市ホースガーデン」が本年7月に開設し 5ヶ月が経過しました。当ガーデンの開設にあたっては、議会はもと より市民からも様々な意見が出されたことは、記憶に新しいものがあ ります。そのような事態の中でも開設されたホースガーデンの検証の 必要性があると考えことから伺います。
	1. 利用状況を伺う。
	2. これからの運営の展望についての考えを伺う。
	3. これからの施設の整備の拡充についての考えを伺う。
4. 阿久津市政4年間の総括 について	阿久津市長は2012年1月22日に就任し、約4年間市政運営の舵 を執ってこられました。就任早々には前年に発生した東日本大震災を

